

# 縄文のビーナス 長野県茅野市棚畑遺跡



縄文時代の集落は、何軒の竪穴住居がお祭りなどに使う広場を中心にして環状につくられています。この土偶はその広場の中にある土坑(第500号土坑)に横たわって出土しました。

①土偶とは（男・女）の姿をあらわしています。（ ）を産み出す神秘的な力と考えられます。



棚畑遺跡は、米沢埴原田の工業団地の造成に伴い、昭和61年に発掘された、市内でも最大規模の遺跡。この遺跡からは、縄文時代の前期から江戸時代までの生活の跡が見つかっています。特に今から約4000年から5000年前といわれる、縄文時代中期と呼ばれる時代については、この土偶をはじめ、膨大な量の優れた資料が出土しました。頭は頂部が平らに作られ、円形の渦巻き文が見られることから、帽子を被っている姿とも髪型であるとも言われています。文様はこの頭部以外には見られません。顔はハート形のお面を被ったような形をしています。

# 仮面土偶発掘 2000年8月31日 長野県茅野市中ツ原遺跡



尖石縄文考古館へ運ばれ、復元作業が行われた。

「仮面土偶の顔」板のように作られる腹部に「磨き」、裏面に網代痕(敷物の上)



## ②土偶とは、 縄文人・弥生人 の心をこめた(生活・祈り)の道具である。



「仮面の女神」の愛称をもつこの土偶は、茅野市湖東の中ッ原遺跡から出土した、全身がほぼ完存する大形土偶です。全長は34センチ、重量は2.7キロあります。顔に仮面をつけた姿を思わせる形であることから、一般に仮面土偶と呼ばれるタイプの土偶です。今から約4000年前の縄文時代後期前半に作られました。



遺跡のほぼ中央にある、お墓と考えられる穴が密集する場所で、穴の中に横たわるように埋められた状態で出土しました。右足が壊れて胴体から外れていましたが、これは人為的に取り外したことが明らかになりました。

# 土偶の移り変わり

## ① 縄文草創期

顔も手足もなく、乳房のみ。

## ② 縄文前期

頭部が付き、穴のあいたものも登場。



## ③ 縄文中期

中期になると顔が付き、四肢も表現。さらにポーズをとる土偶が登場。具体的な女性の姿をあらわすようになった。

## ④ 縄文後期・晩期

**ア** ハート型土偶 仮面をかぶったり、顔が印象深い。

手足にも特徴あり

**イ** みみずく型土偶 腕の形状、引き締まったウエスト、張り出したおしりに特徴。

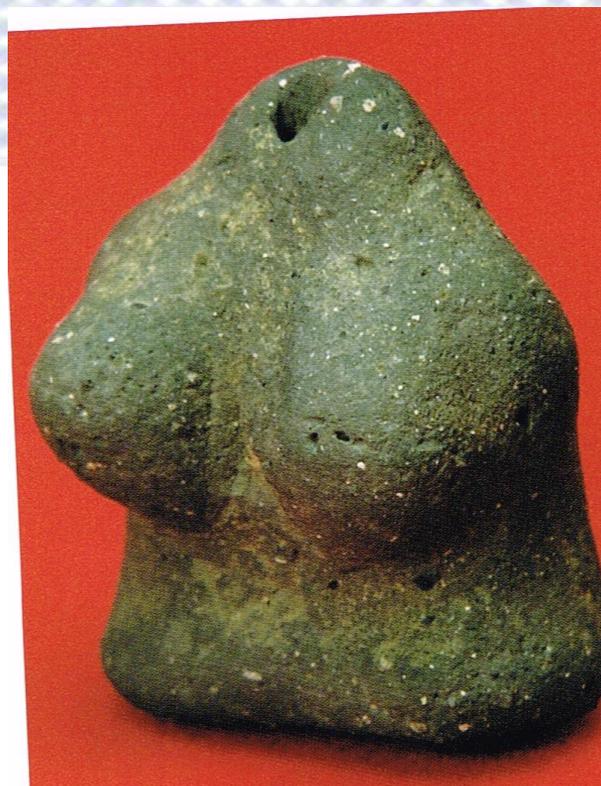
**ウ** 遮光器土偶 目にあたる部分がイヌイットが着用する遮光器のような形をしていることから

# 縄文前期の土偶

# これは何？



三重県飯南町粥見井尻遺跡  
高さ6. 8センチ。竪穴住居より



滋賀県東近江市永源寺  
相谷熊原遺跡  
高さ3. 2センチ。竪穴住居より

# 土偶をつくった理由

☆ 土偶は( )により、壊されて出土する。

## ①身代わり説

医者がいなかった縄文時代には、病気やけがをした人の身代わりとして土偶をこわした。(埋めた)

## ②地母神信仰説

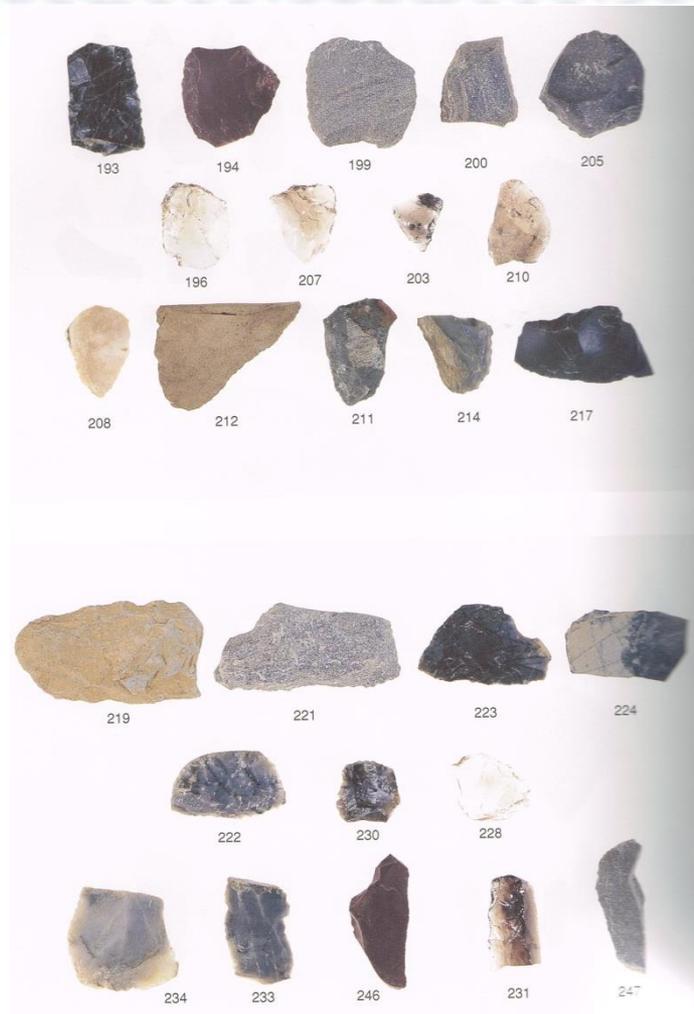
植物の新たな芽吹きを祈り、人の新たな生命を宿る女性像を壊してばらまいた。

## ③精霊依代(よりしろ)説

マツリの時に異世界からやってきた精霊が宿るためのもの。また精霊が異世界に戻るように、土偶をこわした。

# 瀬戸市八王子遺跡

瀬戸市八王子町  
8000年前の縄文早期の遺跡



瀬戸市・八王子遺跡の土器出土状況



縄文時代の落ち込みと竪穴住居  
が見つかりました。

# 瀬戸市八王子遺跡

瀬戸市八王子町

8000年前の縄文早期の遺跡



壊れた土器を手直しする  
など大切に土器を扱って  
いたことが分かります。

- ・ 土器の製作 . . . ( )  
の煮沸や炊くことに)
- ・ 石器 . . . 石鏃  
( )として利用

愛知の	縄文草創期13000年前	土器・弓矢の使用開始
縄文早期	貝塚	縄文後期 4000年前 海退
縄文前期	6000年前	海進 縄文晩期 3000年前 土器棺墓
縄文中期	5000年前	埋甕

# 一宮市・八王子遺跡の土偶



人の顔に入れ墨を入れた( )面土偶

愛知県で土偶が作られるようになったのは、今から3500年ほど前のことです。縄文人の入れ墨や化粧を表現し、男の姿の土偶もあらわれました。

愛知県では西日本から伝わった弥生文化の生活が始まって、縄文文化の伝統が残りました。

一宮市八王子遺跡・猫島遺跡の土偶は2300年前、弥生時代初期の土偶です。